

東郷町デマンドタクシー 第二期実証実験

結果

目次

実験概要	1
利用状況	2
利用者アンケート調査結果	6
まとめ	13

実験概要

1 目的

- (1) 対象者が認知できるように周知を工夫し、利用者数を増やすこと。
- (2) 費用対効果から、町にふさわしい移動手段であるかを検証すること。
- (3) 他の移動手段との役割分担を整理すること。
- (4) 新型コロナウイルスワクチンの接種会場への輸送を行うこと。

2 対象者

東郷町内在住の方で以下(1)もしくは(2)に該当する方

- (1) 65歳以上の方
- (2) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する方

3 実験期間

令和3年5月6日（木）から8月31日（火） ※81日間

※土日祝日を除く

4 運行時間

午前9時から午後3時

5 利用料金

無料

6 利用回数

無制限

7 乗降場所

東郷町内の指定場所（利用者自宅前、公共施設、病院、診療所、薬局、スーパー、バスターミナル、理美容室、金融機関、墓苑）

8 予約

(1) 予約受付時間

午前9時から午後3時（土日祝日を除く毎日）

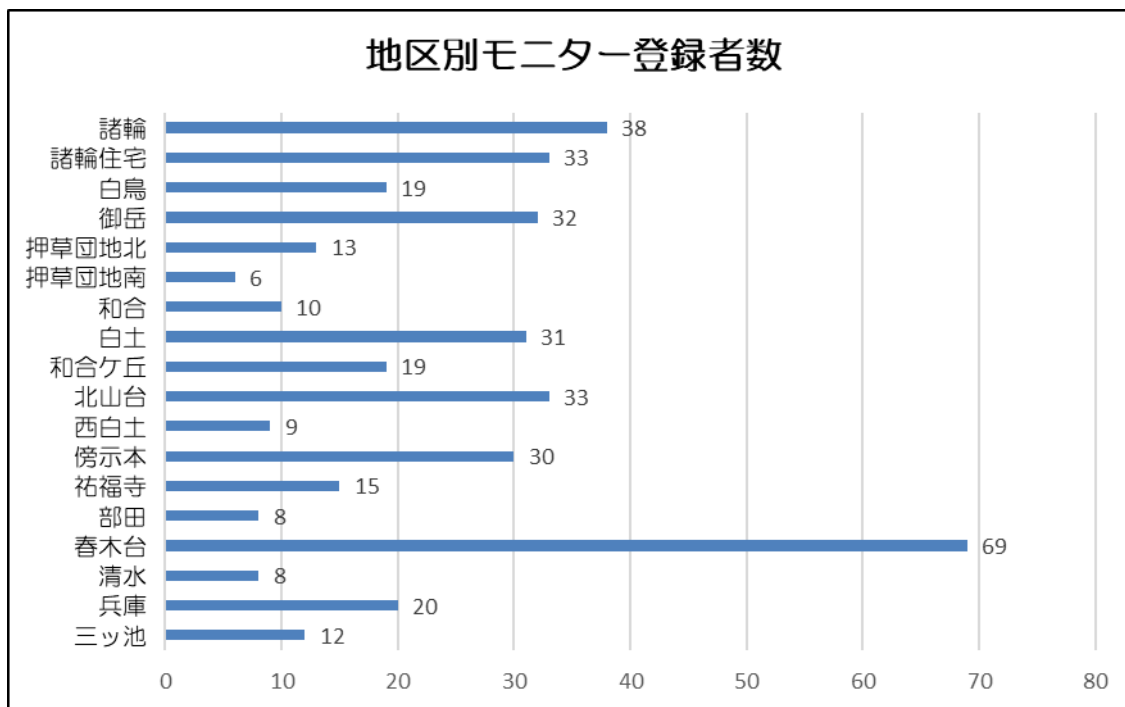
(2) 予約方法

モニター登録申請書を提出した対象者に登録証を送付する。利用者はそれを受領の上、利用希望日の3日前から前日までの予約受付時間内に運行事業者に電話予約。ただし、当日の車両に空きのある場合は、当日予約も可能。

利用状況

1 モニター登録者数

405人【第一期実証実験113人】



2 実利用者数

164人（モニター登録者数の約40%）

【第一期実証実験 通常の実証実験35人、臨時の実証実験34人】

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種のためのみに利用した人もいる（11人）。

3 モニター登録者の属性

① 65歳以上の方

387人（内75歳以上の方320人）

② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する方

75人（うち、①にも該当する方57人）

4 予約及び利用件数

予約人数 1,686人

— キャンセル 70人

実利用人数 1,616人 (車両稼働回数 1,294回)

(実利用人数の内、ワクチン接種利用 123人 (実利用者50人))

【第一期実証実験 (通常の実証実験と臨時の実証実験を合算したもの)】

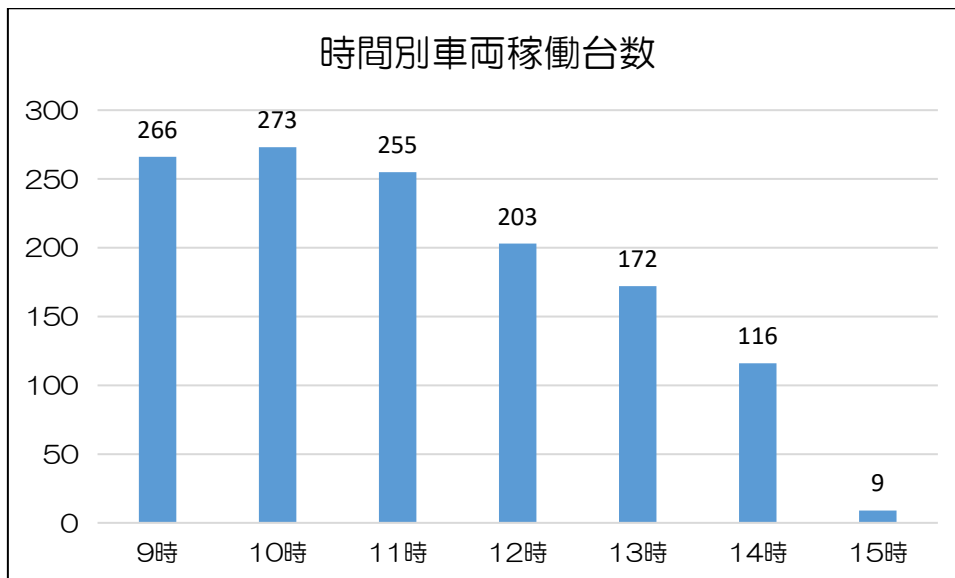
予約人数 328人

— キャンセル 17人

実利用人数 311人 (車両稼働回数 240回)

- ・ キャンセル理由としては、新型コロナウイルス感染症感染の懸念、他の予定ができた、体調不良等が大半。
- ・ 当日予約は予約人数の33% (549人)である。
- ・ 乗合希望者の過多や希望時間の重複による予約不成立は発生していない (別の日時を案内することもある。)。

5 時間帯別車両稼働台数



- ・ 午前中 (9時から11時台) の車両稼働が全体の62%を占める。

- ・ 10時台をピークにそれ以降減少している。

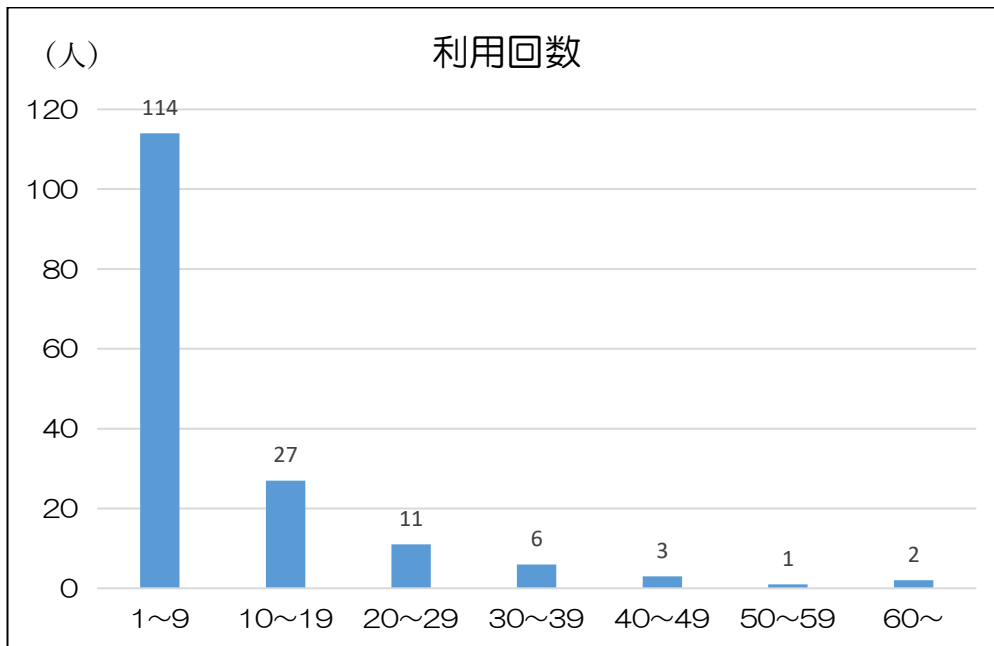
6 乗合率

1. 25

(第一期実証実験 通常：1.34、臨時：1.25)

7 利用回数

(1) 実利用者の利用回数



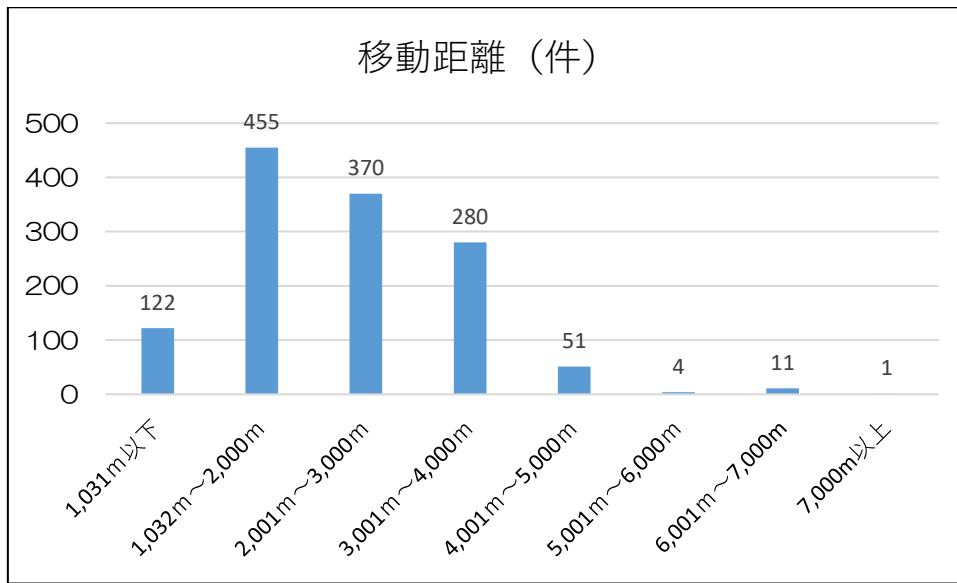
- ・ 実験期間中の利用回数としては、1~9回が最多。
- ・ 実験期間中の最大利用回数は66回である。

(2) 一人当たり平均利用回数

9.9回 (第一期実証実験 通常：5.11回、臨時：3.88回)

- ・ 利用回数を無制限 (第一期実証実験では一人6回まで) としているため、頻繁に利用する利用者が平均利用回数を押し上げている傾向がある。

8 利用者の移動距離（参考：東郷町延長 東西4.68km、南北6.96km）



- ・ 利用実態（OD）は町の中心部をまたぐ移動は少なく、最寄りの生活圏（買い物、病院等）で移動することが多い。

9 運行にかかる費用

5,900,640円

（参考：1人あたりの輸送にかかる経費 3,651円/人）

	5月	6月	7月	8月	管理費・ 雑費等	合計
運行費用（円）	820,620	1,488,960	1,256,310	1,586,250	748,500	5,900,640

利用者アンケート調査結果

1 対象者

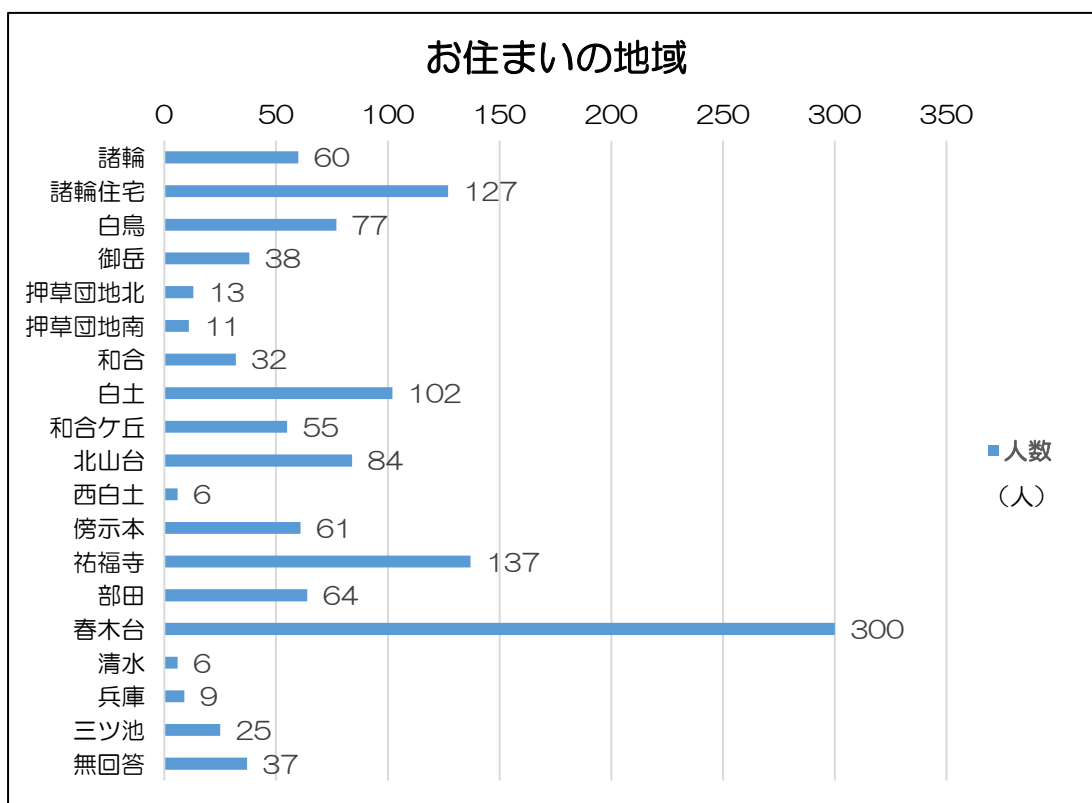
第二期実証実験期間中、デマンドタクシーに乗車した方。

2 回答者数（重複あり）

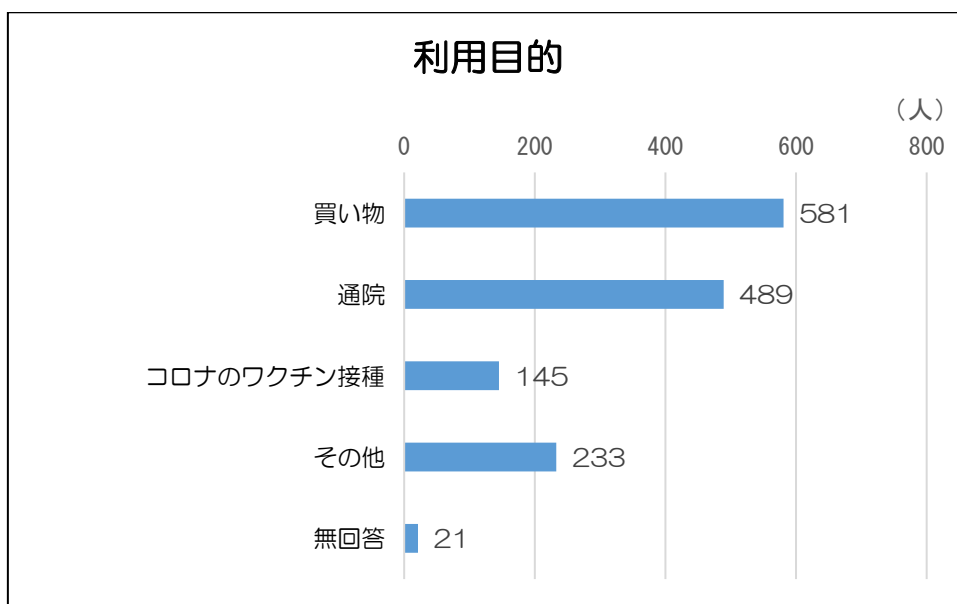
1, 244人（第一期実証実験時287人）

問1 お住まいの地域（行政区）はどこですか。

- ・ 第一期実証実験では、御岳、北山台、春木台の回答者が多かったが、今回の実証実験では、春木台の利用が多い。



問2 今回、デマンドタクシーを利用した目的は何ですか（複数回答可）。

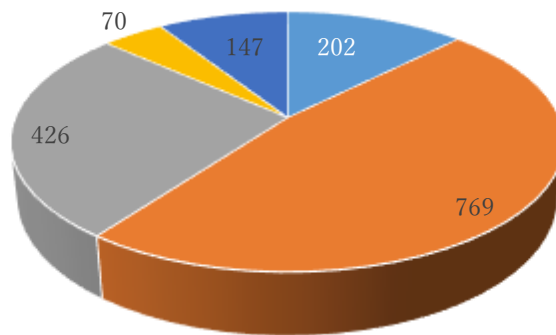


- ・ デマンドタクシーの利用目的としては、買い物が約40%、次いで通院が約34%を占める。
- ・ その他としては、第二期実証実験から新たに乗降場所に加えた、理美容室、金融機関、墓苑の他、役場やいこまい館等の公共施設の利用が多い。また、通勤や趣味での利用も複数いる。

問3 よく行く場所や施設はどこですか（複数回答可）。

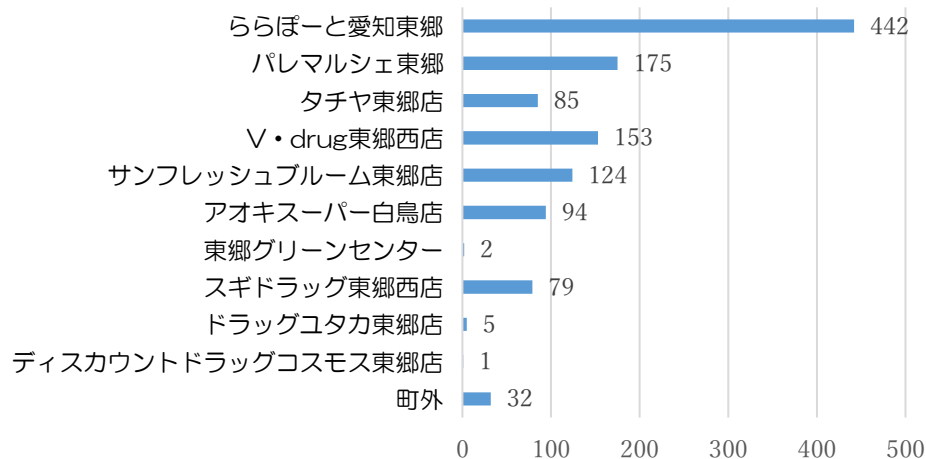
- ・ よく行く場所・施設については、スーパー・薬局が約48%を占め、次いで医療施設が約26%を占める。
- ・ コンビニや近隣の商業施設（プライムツリー赤池）や医療施設（おりど病院や藤田医科大学病院）、郵便局、墓苑や美容室等の回答が複数ある。

よく行く場所・施設（大分類）

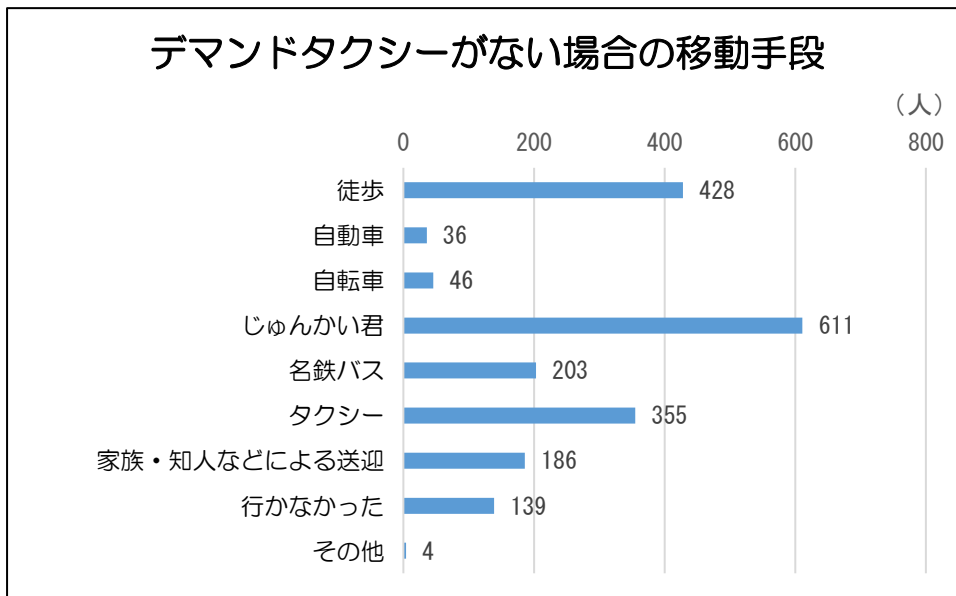


■ 公共施設 ■ スーパー・薬局 ■ 医療施設 ■ 金融機関 ■ その他

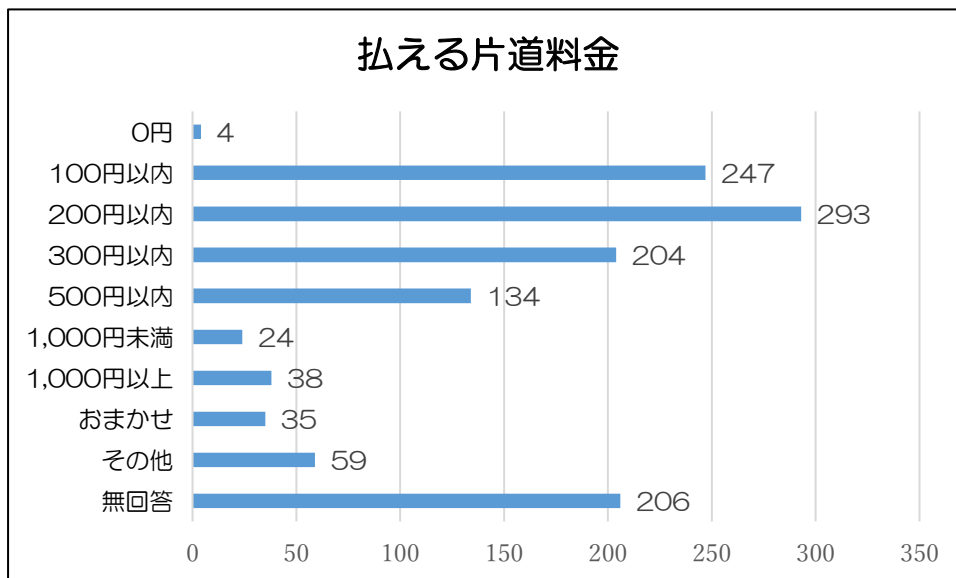
よく行く施設（スーパー・薬局）



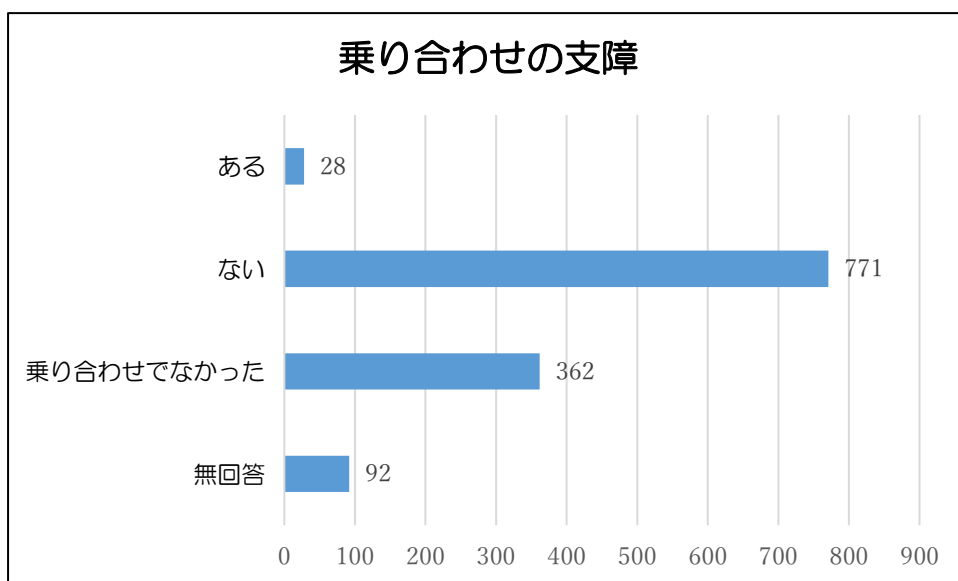
問4 デマンドタクシーがなければ、今回の目的地にどのように移動しましたか
(複数回答可)。



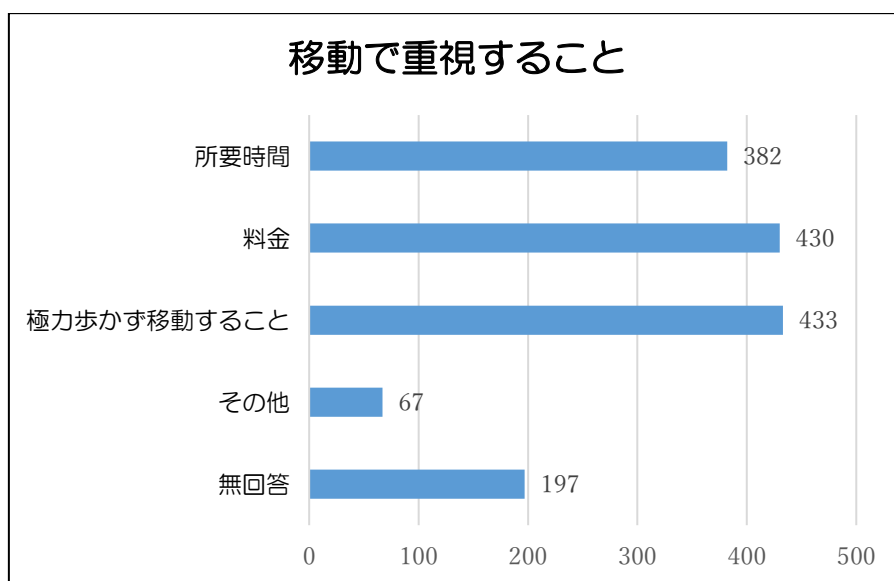
問5 デマンドタクシーを今後導入された場合、片道いくらなら払えますか。



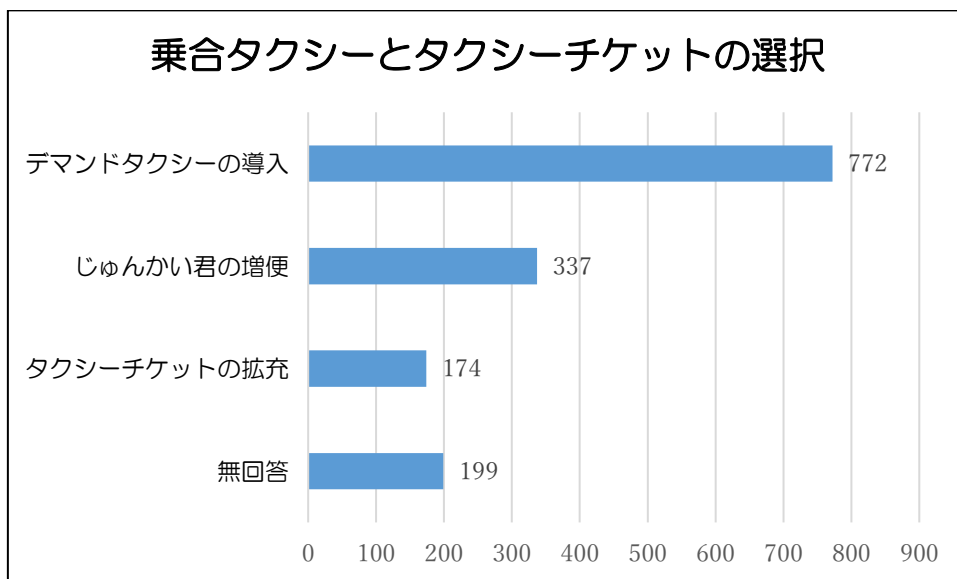
問6 知らない方と乗り合わせ支障に感じることはありましたか。



問7 移動に際して最も重視することは何ですか。



問8 今後は、「デマンドタクシーの導入」と「じゅんかい君の増便」、「タクシーチケットの拡充（対象者）」、どちらがよいですか。

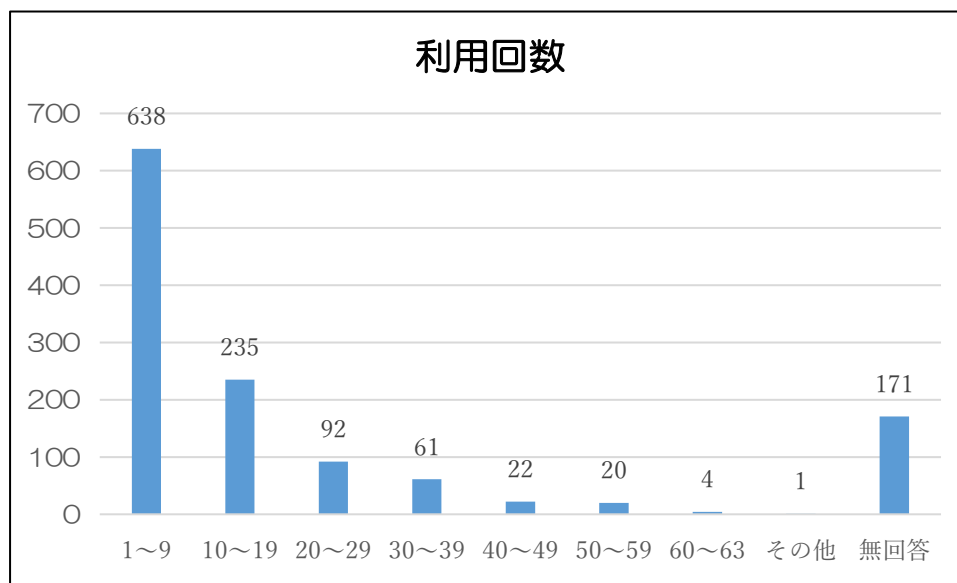


問9 デマンドタクシーを体験された上でお気づきの点等ありましたらご記入ください。

回答数 699人

- ・ (希望時間に) 予約が取れない (9人)
- ・ 予約することに抵抗がある (7人)
- ・ 運行時間を伸ばしてほしい (12人)
- ・ 鉄道駅等、運行範囲を広げてほしい (7人)
- ・ 大きな車両を一人で乗車するのがもったいない (7人)
- ・ その他、「ありがとう」や「助かりました」、「電話対応が丁寧」や「運転手が親切」等、感謝の感想が多い。

問10 デマンドタクシーの利用は今回で何回目ですか。



- ・ 利用可能日数81日中の週に一回(20回)以上利用した人は200人(回答者の19%)いる。

まとめ

- 利用状況及びアンケート調査から分かったこと

【利用状況】

- ・ 第二期実証実験で新たに対象とした65歳以上75歳未満の登録者は67人（登録者全体の17%）であり、実利用者数は27人であった。利用回数は292回（利用回数全体の約18%）であった。
- ・ 一人あたりの平均利用回数は9.9回であるが、最大利用回数が60回を超える利用者もいるため、一人あたりの利用回数のばらつきが大きい。
- ・ 乗合率が1.25であり、乗合いにならない運行がほとんどである。また、夫婦や知人同士の乗合いがほとんどであり、知らない人との乗合いはほとんどない。
- ・ 第一期実証実験と同様、午前の時間帯での利用（全時間帯の62%）が多い。
- ・ 利用者は、最寄りの生活圏内で移動することが多く、長距離での移動が少ない。
- ・ 運行にかかる費用が、他の移動手段と比較して高額である。

【アンケート調査】

- ・ 利用者の住所地は、春木台が300人（約25%）と最も多く、次いで祐福寺が137人（約11%）、諸輪住宅が127人（約10%）、白土が102人（約8%）である。
- ・ 利用目的は、買い物が581人（約40%）、通院が489人（約33%）である。
- ・ デマンドタクシーがない場合の移動手段は、じゅんかい君が611人（約30%）、徒歩が428人（約21%）、タクシーが355人（約18%）、名鉄バスが203人（約10%）であった。
- ・ デマンドタクシーに支払うことのできる金額について、200円以内が293人（約24%）、100円以内が247人（約20%）、300円以内が204人（約16%）、301円以上が196人（約16%）であった。

- 目的に対する評価及び課題

目的別に以下のとおりの評価を行い、課題を抽出しました。

- (1) 対象者が認知できるように周知を工夫し、利用者数を増やすこと。

第一期実証実験で行った広報、ホームページの掲載に加えて、全地区への回覧、老人クラブへの周知、介護保険対象者への案内、新型コロナウイルス

接種券送付対象者への案内を行い、登録者数が第一期実証実験と比較して約3.6倍、実利用者数が約4.7倍に増加したため、一定の効果が得られた。

- (2) 費用対効果から、町にふさわしい移動手段であるかを検証すること。

第一期に比べて利用者は増加したものの、乗合率が1.25であり、デマンド型交通の利点である乗合いがほとんど達成されていない。

また、ジャンボタクシー2台の借上げによる運行のため、費用に対して輸送効率は悪く、車両の小型化を含めて経費がかからない運行を考える必要がある。

- (3) 他の移動手段との役割分担を整理すること。

利用者アンケートの結果、デマンドタクシーがない場合の移動手段では、じゅんかい君が30%、徒歩が21%、名鉄バスが10%であった。バス停まで歩いて行ける人の利用が大半を占めている。デマンドタクシーの利用は無料、無制限であり、乗合率も低いことから、実態は無料で使えるタクシーに近い。他の移動手段との運賃のバランスを踏まえながら、有料化での運行を行う必要がある。

一方で、じゅんかい君再編に伴う減便に対する代替手段としてデマンドタクシーを使っている町民もいるため、じゅんかい君の本数が少ない地区は利用登録者が多い傾向である。

- (4) 新型コロナウイルスワクチンの接種会場への輸送を行うこと。

新型コロナウイルス接種券送付対象者への案内を行い、延べ123名（実利用者50名）の利用があった。一方で、ワクチン接種の時間帯とデマンドタクシーの運行時間が合わず、利用をお断りすることがあった。